

2019  次世代ビークル展

ITV
Intelligent Transport Vehicle

新しいトラックショー

主催事務局：次世代ビークル展運営委員会

〒104-0061 東京都中央区銀座2-11-9 三和産エビル7階(株日新内)
電話 03-6278-8905 FAX 03-6278-8906

<http://www.truck-x.com>

Eメール yokoro@nissin-news.co.jp

2019  次世代ビークル展

ITV
Intelligent Transport Vehicle

新しいトラックショー



特装車とトレーラ展(ITISショー)改題

開催ご案内

会場：幕張メッセ国際展示場

会期：2019年

10月1日(火曜日)

10月2日(水曜日)

10月3日(木曜日)



一般社団法人 電気自動車普及協会

主催事務局：次世代ビークル展運営委員会

<http://www.truck-x.com>

2019年全国トラック事業者大会と同時開催

運送経営者が集う幕張で新しいトラックショー

全国の主要なトラック運送経営者約2000社が一年に一度集う「全国トラック運送事業者大会」が2019年は10月2日、千葉県の幕張メッセで開催されます。昨年6月、私達はこの幕張メッセでトラック・トレーラを対象の『TTSショー』を開催しましたが、今回は、全日本トラック協会が主催する第24回トラック事業者大会に合わせて、新しいトラックショーを、大会会場に隣接する7ホールで開催することになりました。全国の主要トラック事業者が関東で集うのはほぼ10年に一度です。新時代に向けた新技術を提案する絶好の機会です。

第一次産業革命をもたらした蒸気機関の発明から僅か250年足らず、今日では自動車や列車、船舶や航空機など、あらゆる移動体(ビークル)が加速度的に変化しようとしています。

その要因のひとつがIoT(モノインターネット)です。あらゆるモノがネットワークにつながり、リアルタイムで情報をやり取りすると様々なデータを蓄積することができます。例えば、自動車をネットワークにつなぐと渋滞や道路工事の有無、事故や路面の状況などのデータをリアルタイムで集め、他の運転者と情報を共有することが可能になります。

更に、人知を超えた働きをするのがAI(人工知能)です。IoTで集めたデータを分析し、その規則性を見つけたり、実際に機械の制御もします。例えば自動車、立体化された(3D)地図に周辺車両や歩行者、信号、渋滞、事故、交通規制、路面などの情報をIoTから受け取り分析することで、AIによる自動運転が可能になります。

これらの新しい技術を搭載した移動体を私達はITV(アイ・ティ・ビークル)と呼ぶことにしました。ITVはIntelligent Transport Vehicleの略称ですが、ITにはInformation Technology(インフォメーション・テクノロジー)、すなわち情報技術の意味も含まれています。

私たちは1977年から約30年間東京トラックショーを開催しました。物流が劇的に変化したこの時代、ウイングボデーや冷凍車など様々な車両が開発され、このトラックショーで飛躍的に発展した経緯があります。

トラックも既に自動運転や追従走行の技術はほぼ完成のレベルに到達しています。ITVの時代になれば安全も飛躍的に向上する筈です。さらに排出ガスを出す車両は世界的に生産・販売を禁止する方向なので、動力は電気に移行せざるを得ません。

2019年10月に開催する『ITV』では、トラック・バス、トレーラー、特装車などの展示と合わせて、加速度的に変化する次世代ビークルの諸問題をユーザーと一緒に考えたいと思っています。

株式会社ベネッセホールディングスの福武総一郎氏の「未来の子供たちのために、美しい地球を残したい」の趣旨で設立された一般社団法人電気自動車普及協会(横川浩会長)とは、今回も共同開催となります。

この時期、最先端の技術を展示する「ITVショー」は必ずや世界に衝撃を与えることでしょう。関係各位のご支援、ご協力を衷心より願ひ申し上げます。

2018年11月吉日

株式会社 日新
代表取締役社長 横路 美亀雄

2019次世代ビークル展 開催概要

【会期・会場】

- 1. 名称** 2019次世代ビークル展
(英文名: Intelligent Transport Vehicle 2019)
《テーマ》時代が変わる ビークルも変わる
- 2. 会期** 2019年10月1日(火)、2日(水)、3日(木)の3日間
- 3. 会場** 幕張メッセ 国際展示場 7ホール(6,750㎡) & 屋外会場
- 4. 主催** (株)日新・次世代ビークル展運営委員会
- 5. 出展対象**
 - ① 国内および海外の自動車メーカー
 - ② 車体メーカー、トレーラーメーカー
 - ③ 電気自動車など各種ビークル(移動体)およびロボット
 - ④ 関連機器、部品、材料
 - ⑤ 安全・環境機器およびシステム
 - ⑥ 各種関連ソフト
- 6. 来場者対象** トラック運送等物流関係者、自動車産業関係者、先端技術関係者、海外関係者、および報道関係者など(1万5000人を予定)

【講演会およびシンポジウム】

- トラックメーカーの新時代への挑戦
- 自動運転技術の現状と将来展望に関する講演
- 次世代ビークルに関するシンポジウム

■ 後援：公益社団法人 全日本トラック協会

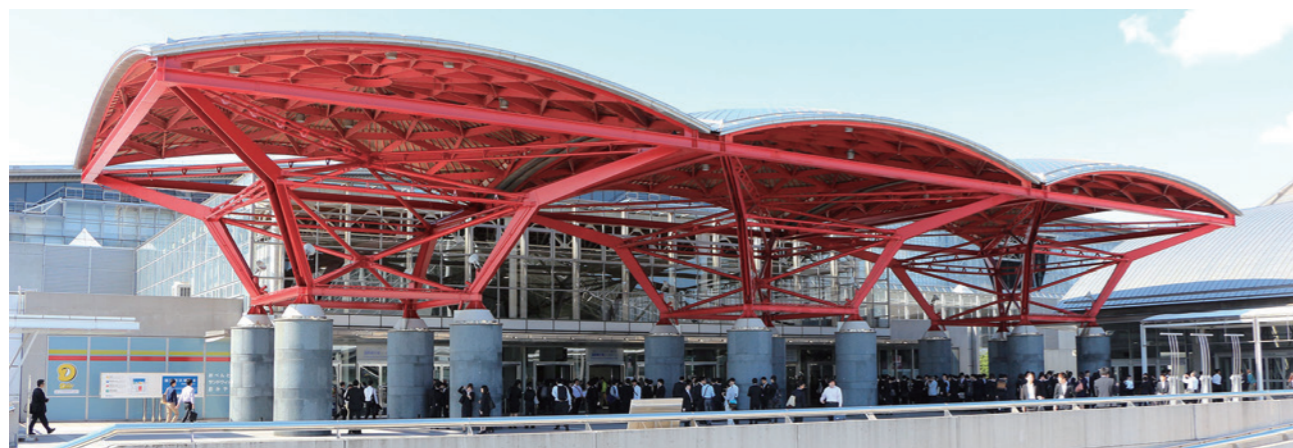
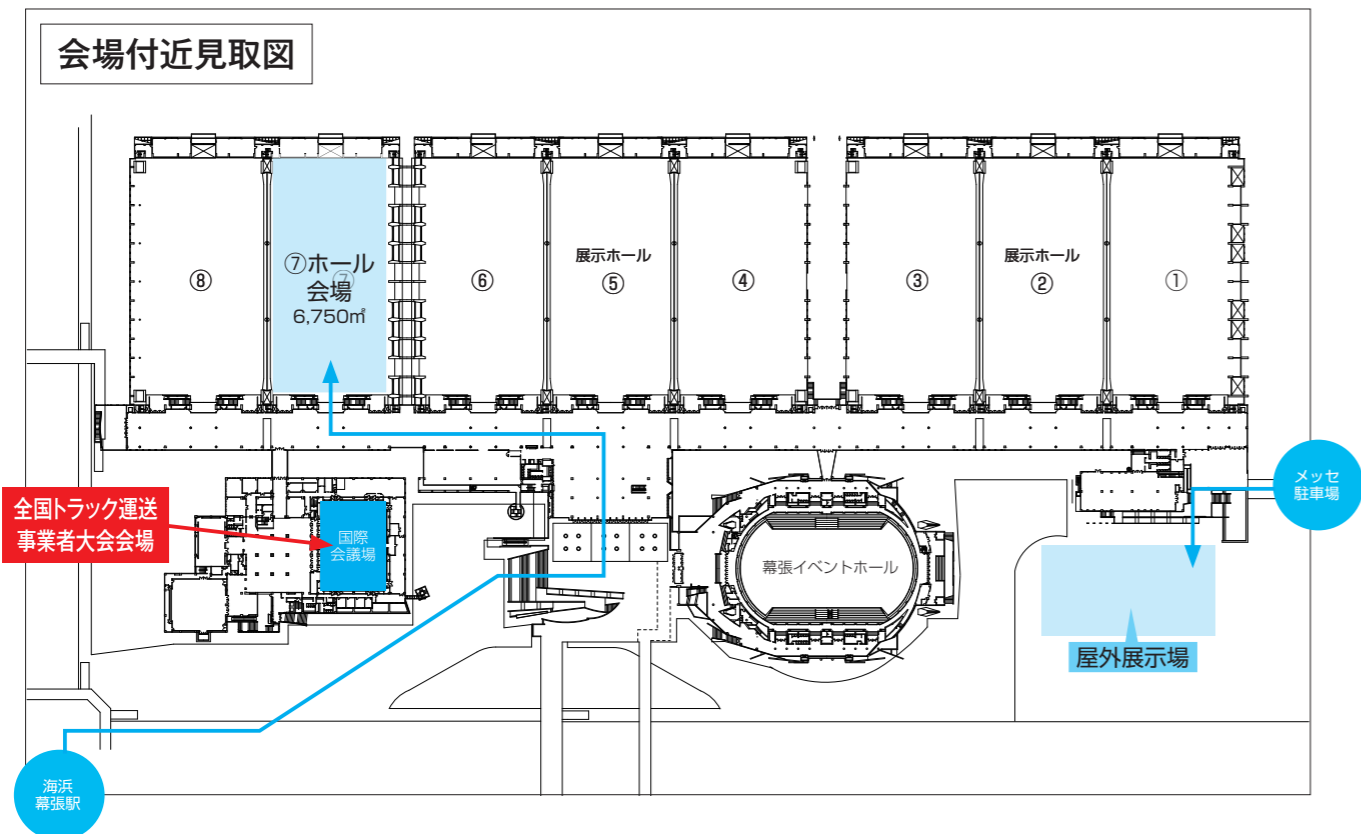
■ 協賛：関東トラック協会

- | | |
|------------------|-------------------|
| 一般社団法人 東京都トラック協会 | 一般社団法人 神奈川県トラック協会 |
| 一般社団法人 千葉県トラック協会 | 一般社団法人 埼玉県トラック協会 |
| 一般社団法人 栃木県トラック協会 | 一般社団法人 群馬県トラック協会 |
| 一般社団法人 茨城県トラック協会 | 一般社団法人 山梨県トラック協会 |
| 公益社団法人 新潟県トラック協会 | 一般社団法人 静岡県トラック協会 |
| 一般社団法人 愛知県トラック協会 | |

次世代ビークル展運営委員会

〒104-0061 東京都中央区銀座2-11-9 三和産工ビル7階(株)日新内)
TEL 03-6278-8905 FAX 03-6278-8906
直通090-5538-2007(横路)
http://www.truck-x.com
Eメール yokoro@nissin-news.co.jp

会場案内 幕張メッセ 国際展示場7ホール(6,750㎡)



中央エントランス



幕張メッセ空撮



7ホール



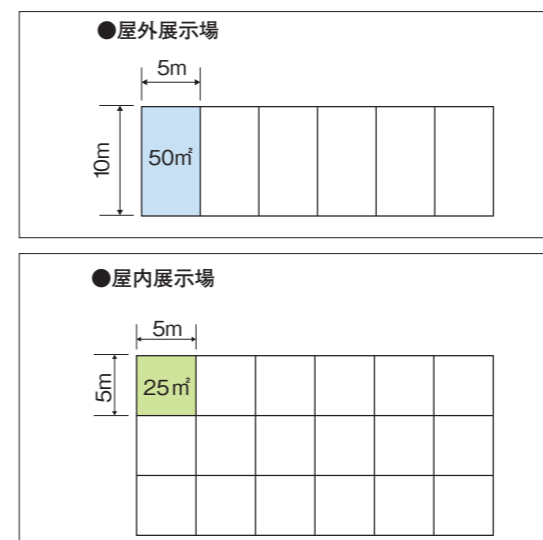
屋外展示場

2019 次世代ビークル展 開催概要

	出展区分	スペース		料金(円)	㎡単価(円)	展示エリア
A	屋外・スペース渡し	10m×5m	50㎡	300,000円	6,000円	屋外展示場
B	屋内・スペース渡し	5m×5m	25㎡	400,000円	16,000円	7ホール
C	屋内・基礎小間渡し	約3m×3m	9㎡	250,000円	約28,000円	7ホール

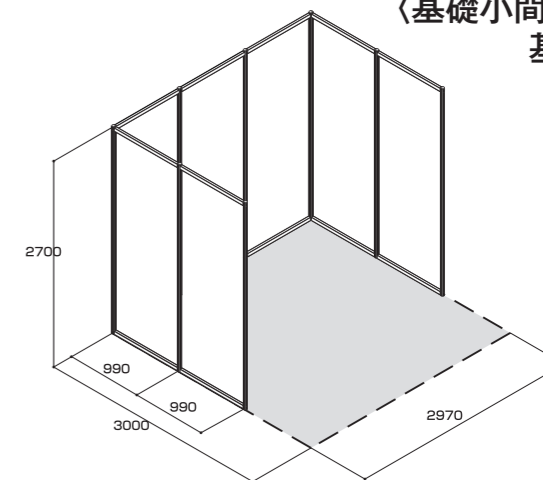
上記の出展料は税別です。ご請求時に消費税分を加算させていただきます。「屋内・スペース渡し」は国際展示場7ホール(屋内会場)の設定となります。*出展申込み受付期間は2018年(平成30年)11月1日から2019年(平成31年)7月31日(特割は2019年(平成31年)11月31日締切)までとなります。*特別割引は出展料の10%引きとなります。*床面耐荷重は屋内・屋外とも5t/㎡です。*「基礎小間渡し」の出展料には基本的なシステムパネルの施工費用が含まれています。*出展位置(会場レイアウト)は、使用面積、来場者動線及び消防規定等を考慮して主催者側で決定します。*展示スペースが予定の規模に達した場合は、出展受付期間内であってもお申し込みをお断りする場合があります。

〈スペース渡し〉基本図



【スペース渡し】は、仕切りパネルなど事務局側の施工はありません。複数のブロックを連続して利用する場合、屋外(50㎡/1スペース)は長手10m面を接続する横付けが基本となります。屋外(25㎡/1スペース)の組み合わせは原則自由ですが、会場レイアウトの都合上、ご希望に添えない場合もあります。(複数スペースを使用する場合は申込書に組み合わせ図をご記入ください)

〈基礎小間渡し〉基本図



【基礎小間渡し】は、システムパネルを事務局が施工します。基本的なパネル施工はバックパネルと左右のサイドパネルになります。複数小間を利用する場合は中間パネルは施工しません。出展料に基本的なシステムパネルの施工費用が含まれています。

幕張メッセ アクセスガイド

〈電車でご来場の場合〉

- JR京葉線-海浜幕張駅(東京駅から約30分、蘇我駅から約12分)から徒歩約5分。
- JR総武線・京成線-幕張本郷駅(秋葉原駅から約40分)から「幕張メッセ中央」行きバスで、約17分

〈バスでご来場の場合〉

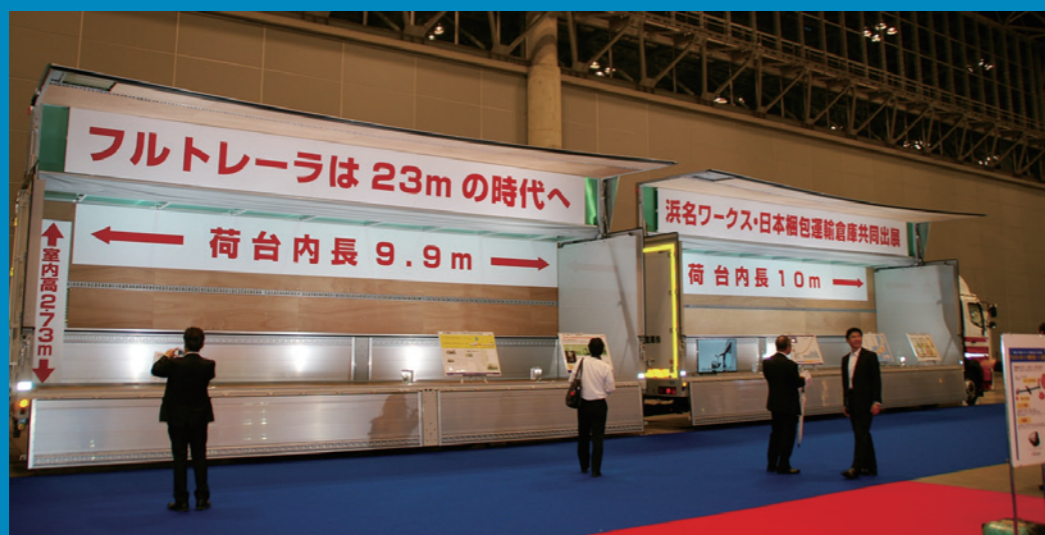
- 高速バスで成田空港より約40分。
京成バス URL: <http://www.keiseibus.co.jp/>



2017日本特装車とトレーラ展



2017日本特装車とトレーラ展



2019 次世代ビークルショーは『全国トラック運送事業者大会』(全ト協主催)と同じ会場(幕張メッセ)で開催します

ITV・次世代ビークルショーと同時に同じ会場で開催される『全国トラック運送事業者大会』は、公益社団法人全日本トラック協会が平成8年から毎年開催している全国規模のトラック運送事業者の決起集会で、今年の幕張メッセが24回目となります。

この『全国トラック運送事業者大会』には、各都道府県トラック協会の主要事業者は殆ど出席されますので、参加者は1500～2000人にもなります。

前回の第23回全国トラック運送事業者大会は四国ブロックの担当で2018年10月10日に香川県高松市で開催されました。

前回は午後1時から全体会議、1時半から「交通事

故防止対策と健康管理の推進について」と「人材確保対策と働き方改革について」と題して、ふたつの分科会が開催され、熱心に議論が行われました。また、午後3時から、著名人の記念講演会、4時10分から全体会議を再開して、トラック運送事業者の健全な発展を目指す10項目スローガンを採択、大会決議として閉幕しました。(写真は過去の事業者大会)

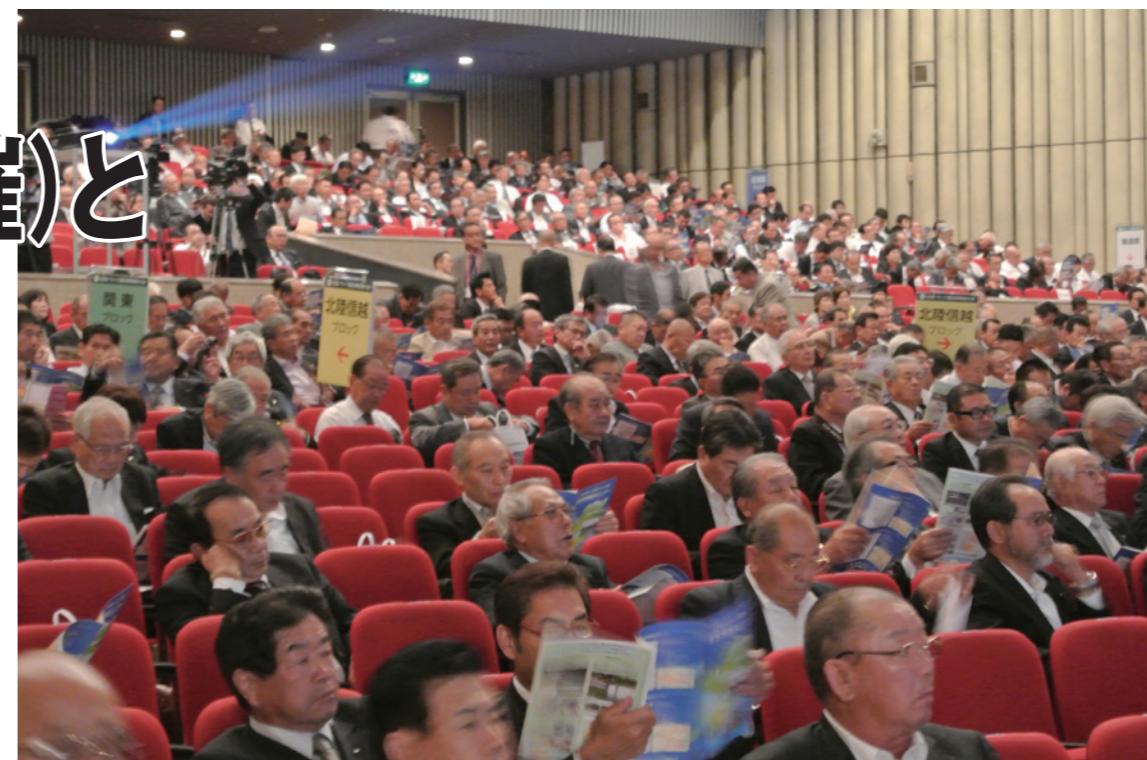
『全国トラック運送事業者大会』には、全国から多数の事業者が出席されますが、ITV・次世代ビークルショーの

会場は通路を挟んだ対面ですので、10月1日の午後、10月2日の午前、10月3日はご来場頂けます。

最近のトラック運送業界は、運転手不足に加えて、働き方改革が経営に大きな課題となって押し掛かっています。また、効率輸送を目的のトレーラ化やスワップボデーの導入にも国土交通省は支援しているほか、女性労働力の活用にも力をいれています。車両メーカーではこれらのニーズに応じて各種技術を開発、無人運転や電気化の実用化に取り組んでいます。今回のITV・次世代ビークルショーは、これら先進技術を全国のトラック運送事業者にご覧頂く絶好の機会です。



出席者全員で一致団結のシュプレヒコール



著名人の講習に耳を傾ける出席者



全体会議



分科会で学習



懇親会



アトラクション